

第Ⅲ期 Lアラート中期的運営方針と、 本年度の取組(案)について

2019年6月27日(木)
プロジェクト企画部 Lアラート担当

■第Ⅲ期中期的運営方針に挙げたFMMCの取組から、2019年度に行うべき取組の整理を行いました。

「★最優先取組」

「☆優先取組」

「○定常作業の中での取組」

と三段階に整理した内容を、別紙「資料27-6-1 Lアラート2019年度の取組について」に記します。

※なお、それぞれの取組の進捗状況については、次回の諮問委員会で報告させていただきます。

2019年度に作業部会で議論させていただきたいトピックについて

・2019年度に行うべき取組の中で、右に挙げたトピックについては、作業部会の場で報告・議論させていただきながら進めることとしたい。

なお、推進体制としては、作業主管はFMMCメンバーで行い、取組の進捗状況に応じて、適宜、作業部会委員にアドバイスをいただく事としたい。

<第Ⅲ期中期的運営方針 FMMCの取組>

Lアラートの利用の多様化

(利用者)

- ・スマホの利用が増えてきていることから、スマホアプリ事業者等の参入促進を図る。
- ・総務省・関係府省等と協力し、引き続き、ライフライン事業者(電力・水道等)の加入を進める。
- ・迅速に報道するため、引き続き、メディアのシステム連携を働きかける。

(発信情報)

- ・「避難所」情報を未発信の都道府県(4県)に対し、引き続き、発信を働きかける。
- ・**災害時の生活情報(お知らせ情報)の発信促進や利便性向上のための取組を進める。**

(有効活用)

- ・**総務省の地図化の実証事業を踏まえ、そのデータの取扱いについて検討を進める。**
- ・多言語対応のため、引き続き、「よみがな」の発信を働きかける。

(次頁に続く)

<作業部会で議論したいトピックとプロセス、推進体制(案)>

■災害時の生活情報(お知らせ)について

- ①発信分析、災害広報の調査、積極的には発信している自治体へのヒアリング等
- ②お知らせ情報の目的・性格・時間軸に着目した再整理、タイムラインや発信雛形の作成
- ③定着化に向けた最適な方策についての議論

<作業主管>

FMMC:外山担当部長、西担当課長

■警戒レベルと地図化対応について

- ①「避難勧告等に関するガイドライン」に伴う、「警戒レベル」「避難指示(緊急)の上位の発令」についての対応
- ②「Lアラート情報の地図化」に伴う対応

<作業主管>

FMMC:深澤担当部長、伊藤担当課長

(前頁からの続き)

Lアラート利用の多様化

(有効活用)

・総務省「今後のLアラートの在り方検討会」報告書にある新たな活用方法(情報伝達者以外への利用拡大、蓄積情報の提供、特定利用者間の情報伝送)について検討し、第Ⅲ期中に速やかに実現を図る。

Lアラートにおける信頼性向上

(システムの信頼性確保)

・Lアラートのシステムの維持・更新に、引き続き、確実に対応する。
・Lアラートに関わる技術者向けの「技術セミナー」を継続して開催し、引き続き、関係者の技術の維持・向上を図る。
・都道府県の防災システムの更改時に、(Lアラートの観点から)FMMCも必要な技術的支援を行う。

(情報の信頼性確保)

・地域連絡会において、自治体等の発信者とメディア等の伝達者の相互理解を促進するよう、FMMCで把握する情報を整理し伝えていく。
・**合同訓練を毎年実施し、複合災害等を想定したようなより実践的な訓練を実施する。**
・都道府県担当者向け研修を実施し、引き続き、実際に入力作業等を行う者に効果的な教育を実施する。
・総務省が検討している第三者(災害情報を扱う企業・団体を想定)が自治体が入力した情報を確認・補正する取組に協力する。

Lアラートの持続的な運用

・総務省とともにLアラートの運用に関する費用負担の内容や方法を検討し、具体的内容をLアラート運営諮問委員会等で議論した上で、第Ⅲ期の期間内での利用者による費用負担の実現を目指す。
・情報伝達者以外への利用拡大やLアラートの新機能等については、今後の費用負担の在り方とともに検討を進める。

■新たな活用方法について

- ① 情報伝達者以外への利用拡大について、どのような利用者が想定されるか、利用する目的に着目しての定義付け、整理
- ② 定義付けに応じて、「Lアラートサービス利用規約」改訂を見据えての検討

<作業主管>

FMMC: 佐藤担当部長、伊藤担当課長

■合同訓練について

- ① 今年度の合同訓練の良かった点・課題等の作業部会での報告
- ② 次回の訓練における目標や注力すべき事項等の検討
- ③ その他、訓練をよりよいものにしていく議論

<作業主管>

FMMC: 深澤担当部長、片岡担当課長